

周防大島町病院事業経営強化プランについて

令和5年12月 病院事業局

1 プラン策定の趣旨

国（総務省）が示す公立病院経営強化ガイドラインに基づき、将来にわたって持続可能な地域医療提供体制を確保するため、地域の実情を踏まえつつ、必要な経営強化の取組などを記載した経営強化プランを策定（東和病院、大島病院、橘医院）

【国ガイドライン概要】

- (1) 役割・機能の最適化と連携の強化（果たすべき役割・機能等）
- (2) 医師・看護師等の確保と働き方改革
- (3) 経営形態の見直し（検討）
- (4) 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組
- (5) 施設・設備の最適化（適正管理と整備費の抑制、デジタル化への対応）
- (6) 経営の効率化等（経常黒字化）
- (7) プランの期間 令和6年度～令和9年度（4年間）

2 プランの概要

○ 町病院事業局を取り巻く環境〈人口・患者推計〉 (単位：人)

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
人口(町ビジョン) P7	15,129	13,358	11,918	10,675	9,564
入院患者 P8	404	379	341	301	259
うち町内対応(一般・療養) P11	163	155	139	123	105
外来患者 P12	1,248	1,129	1,007	893	785

(1) 役割・機能の最適化と連携の強化 P38～

○ 令和4年度（病床機能報告） (単位：床)

	合計		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟
	うち休棟除き						
東和病院	99	99			45	54	
大島病院	99	99			39	60	
橘医院	19	0					19
合計	217	198	0	0	84	114	19

○ 令和6年度～令和9年度（経営強化プラン） (単位：床)

	合計		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟
	うち休棟除き						
東和病院	99	60			60		39
大島病院	99	99			39	60	
橘医院	0	0					
合計	198	159	0	0	99	60	39

※休棟39床：廃止も含め、適宜見直すこととします。

○ 差引 (単位：床)

	合計		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟
	うち休棟除き						
東和病院	0	△39	0	0	15	△54	39
大島病院	0	0	0	0	0	0	0
橘医院	△19	0	0	0	0	0	△19
合計	△19	△39	0	0	15	△54	20

- (2) 医師・看護師等の確保と働き方改革 P45～
県や大学等の関係機関等の連携や柔軟な働き方の推進
- (3) 経営形態の見直し（検討） P47～
引き続き、現在の地方公営企業法全部適用を維持
⇒事業管理者に対し、人事・予算等に係る権限が付与され、自律的な経営が可能
- (4) 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組 P48～
新型コロナウイルス感染症対応を踏まえ、公立病院として平時からの取組を推進
- (5) 施設・設備の最適化（適正管理と整備費の抑制、デジタル化への対応）
 - ・病院施設や設備の長寿命化や更新などを計画的に実施 P48～
 - ・デジタル化への対応 P49～
 - ⇒電子カルテのベンダー統合化、オンライン診療の検討 等
- (6) 経営の効率化等（経常黒字化） P50～

○経常損益の推移

（単位：千円）

区 分	4年度 (2022年度) (実績)	5年度 (2023年度) (見込)	6年度 (2024年度) (見込)	7年度 (2025年度) (見込)	8年度 (2026年度) (見込)	9年度 (2027年度) (見込)
①東和病院	336,372	△139,332	△6,107	13	△40,632	△41,390
②大島病院	65,744	△93,848	9,210	43,702	99,736	118,078
③橘医院	△31,513	△59,347	△36,918	△47,323	△42,712	△48,621
④総務部（医療機関分）	△9,262	△12,281	△12,379	△11,588	△29,228	△24,081
合計	367,609	△304,808	△46,194	△15,196	△12,836	3,986
経常収支比率	109.8%	91.7%	98.7%	99.6%	99.6%	100.1%

3 今後のスケジュール案

